

釣った！見た！

魚の情報を ご提供ください！！

漁師さん、釣り人の方！
情報お寄せください！



①求めている情報！

気候変動による瀬戸内海側、日本海側の海の変化を把握するため、みなさんの釣った魚や見た魚の情報、海の変化の気づきを集めています。

ダイバーさんからの
目撃情報も待っています。



瀬戸内海側・日本海側での「釣れた魚・水中写真」すべての情報を集めています。その中でも、特に★の魚の情報を求めています！

- ★ 暖海性の藻類食害魚(アイゴ、イスズミ、ニザダイ、ブダイなど)、
- ★ 暖海性のハタ類(アラ、アオハタ、アカハタ、オオモンハタ、クエなど)
- ★ 中国四国地域ではあまり見たことがない！と思う魚種、生物



②対象とする釣り場やダイビングエリア

瀬戸内海(岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛)および日本海(鳥取、島根、山口)



③期間 令和6年1月24日～令和6年3月

ご自身の参加しやすい方法(AまたはB)でご投稿ください！
投稿先等の詳細は裏面ご参照ください。

参加 方法

A 下記QRコードへアクセス。
「#中国魚」を添えて投稿



レポっと
奈良先端大学
情報科学領域
松田助教開発

B 下記QRコードへアクセス。
山口県情報はこちらから！



これって気候変動？
みんなで調査！
山口県気候変動
適応センター

投稿いただいた情報は、オープンデータとして公開します。
詳しくは「レポっと」の利用規約をご覧ください。

■取組の目的

- ・ 気候変動影響で、海の生態系が変化しつつあり、地域の養殖業、天然漁業の漁獲量などに影響を及ぼしています。そのため、瀬戸内海・日本海の魚種の変化などの「海の変化」の情報をいち早く収集し、気候変動の影響を把握しながら、気候変動へ適応していく必要があります。
- ・ そこで、海の市民である釣り人のみなさん、海のプロである漁業者、水産技師のみなさんから、リアルな海の情報収集し、各地域で気候変動に適応するアクションへ活用できるような情報収集のための仕組みを実証するために行います。

※本事業は、環境省「令和5年度気候変動適応地域づくり推進事業中国四国地域業務」の一環で、令和4年度に策定された「瀬戸内海・日本海の地域産業分科会広域アクションプラン」のフォローアップとして実施しております。

投稿方法

投稿写真のお願い！

添付いただく魚類写真は、種が判別できるよう、魚が障害物等で隠れず、出来るだけ魚の全体が映るように撮っていただくと嬉しいです！

○ ニザダイ(全体が映っている)



× アカハタ (一部、魚体が障害物で隠れている)



投稿方法A：レポっと

- ①右下の「撮影する」をタップ。
(位置情報を許可してください)
- ②スマホを横にして撮影。
- ③「#中四国魚」をつける。
釣った場所と遠く離れた場所で投稿される場合は「#釣った場所●●」も記載。
↑「#●●漁港波止場」など
- ④コメントに、「気づき」を投稿。



奈良先端科学技術大学院大学 助教 松田 裕貴氏提供資料より

#中四国魚 #釣った場所
釣った場所は「#●●漁港波止場」など記載してください。

出来るだけ釣った・見た場所で投稿お願いします。

最近○○がとれるようになった。など。

投稿方法B:これって気候変動？みんなで調査！ 山口県気候変動適応センター



操作マニュアルの詳細はこちらを参考



- ①投稿用フォームボタンを押す。
- ②撮影日時、ニックネーム、あなたの気づきを記入。
- ③撮影した写真の位置情報を登録する。
- ④年齢、画像を添付。
- ⑤気づきの分野「農林水産業」を選択。

問い合わせ

株式会社 地域計画建築研究所(アルパック) 担当：中川、霜倉
メール：chushikoku-tekiou@arpak.co.jp
TEL：(06) 6205-3600 (代表)